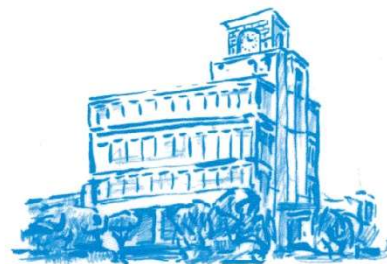


## 教育フォーラムでの学び

伊丹市立総合教育センター  
所長 永嶺 香織

寒さも和らぎ、日ごとに春の気配を感じられるようになってまいりました。各学校では、最大の行事である卒業式に向け、制限のある中でも子どもたちの思い出に残る卒業式にしようと創意工夫されていることと思います。



さて、総合教育センターでは、教師の授業力の向上をめざし、2月6日からオンデマンド開催を皮切りに、「令和4年度教育フォーラム」を実施しました。

現行の学習指導要領では、「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「主体的に学習に取り組む態度の育成」が求められていますが、これらの資質を育成するためには、すべての子どもが主体的に学びに向かえる学習環境や人間関係、ICT環境の整備等を進めるとともに、教師が同じ方向で「授業改善」に取り組む必要があります。

このようなことを踏まえ、今年度の「教育フォーラム」では、授業改善を進めるための基盤として、「学級づくり」「ICTの効果的な活用」「授業づくり」「組織づくり」の4つの観点から、大学教授や伊丹マイスターを講師に、それぞれのポイントについて学びました。

中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」においても、「主体的な姿勢」「継続的な学び」「個別最適な教師の学び」「協働的な教師の学び」「現状の把握と目標設定」などが「新たな教師の学びの姿」としてあげられており、令和5年4月から新たな研修の仕組みがスタートします。

総合教育センターにおいても、今後も高度な専門職である教師の資質向上をめざし、日々刻々と変化する社会状況に対応できる研修や教育課題に対応した研修の充実を図ってまいります。

# 授業改善を考える

「主体的・対話的で深い学び」の  
実現に向けて

令和4年度伊丹市立総合教育センター教育フォーラム報告

「授業改善」を図るためには、「授業づくり」に関する知見だけでなく、研究を進める「組織づくり」、協働的な学びを支える「学級づくり」、一人一台端末による「ICTの効果的な活用」等が重要であると考えました。そこで、今年度、「教育フォーラム週間」として、「授業改善」に必要なそれぞれの要素を学べる講座を実施しました。そこで得られた学びを抜粋して紹介します。

## 「学級づくり」を考える

「秩序のある学級づくり～特別支援教育の視点から～」

講師：桃山学院教育大学教授 松久 眞実 氏

### 秩序のある教室にするためのポイント

- ①叱る基準を明確にする。
- ②教室の刺激を減らす。

- ↓
- ・『静寂の時間』を増やす。(音は音を呼ぶ)
  - ・言葉を減らす。(簡潔な短い言葉)
  - ・減らした言葉は非言語・視覚支援で補う。(アイコンタクト・ジェスチャー)
  - ・好意に満ちた語りかけをする。…子どもを信じる・言い分を聞く・責めない

各講座は録画していますので、校内研究で利用したい学校、個人で視聴して学びたい方は、総合教育センターまでご連絡ください。

## 「ICTの効果的な活用」を考える

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの活用」

講師：伊丹市立桜台小学校教諭 増田 朋之 氏

伊丹市立摂陽小学校教諭 松本 唯 氏

【伊丹マイスター(小学校ICT活用)】

### 主体的・対話的で深い学びを生み出すICT活用のポイント

児童生徒が自分にふさわしい学習方法を模索するような態度を育てることが大切。

- ↓
- ①授業のねらいをはずさない。
  - ②ICTの効果を考える。
  - ③できるだけシンプルな使い方をする。

### 個別最適な学びへの支援として

教室では発言しにくい子どもに、チャット機能を活用する。  
→チャット上では自分の意見を表現できる子どももいる。(対話的な学びに)

## 「授業づくり」を考える

「主体的で深い学びを生み出す授業づくり10ポイント

～人間性の涵養につながる授業を目指して～

講師：森ノ宮医療大学教授 阿部 秀高 氏

### 主体的な学びを生み出すポイント

- ※「主体的な学び」とは、  
「何を」「どのように」「どうやって」学ぶかを子ども自身が自覚した学び。
- ・大学入試共通テストをはじめ求められている学力の基盤は読解力である。  
→インプットとアウトプットを連動して育てていく。

### 深い学びを生み出すポイント

- ※「深い学び」とは、  
自分事の学び・活用できる学び=未来を生き抜く力
- ・授業の山場=深い思考場面をつくる。
- ・可視化(板書)の工夫  
思考と評価の過程が追えるよう情報量を押さえつつ、デザインする。

# 授業改善

## 「組織づくり」を考える

「地域に根ざす校内研修を共創する一リーダーとしての役割一」

講師：大阪大谷大学教授 今宮 信吾 氏

### 研究を推進するリーダーに必要な条件

- ①目指す方向性を示す。
- ②新しいことに挑戦する。
- ③関心の対象が「もの・こと」より「ひと」。(人を大事にできるかどうか)等

### 学校全体で研究を推進するポイント

- ①思考ツールを活用して、本年度の研究の成果と課題を振り返る。
  - ②授業のチェック表で授業を確認する。→職員全員で授業を変える。  
「黒板との間に先生が立って誘導していませんか」  
「グループ活動に任せっぱなしになっていませんか」等
- ※研究を中心とした学校づくりで、働きがいにつながる。

# 総合教育センター事業報告(一部抜粋)

## 研修

### 令和4年度の事業実施方針

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習指導の改善・充実
- (2) 教職員のライフステージに応じた研修の充実
- (3) 今日の課題の解決及び教職員のニーズに応じた研修の充実
- (4) 多様な研修形態による教職員の学びの場の充実
- (5) 学校へのアウトリーチ型支援の強化

### 成果

- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりや評価方法、ICTの効果的な活用、授業を支える学級づくりに関する講座を実施したことで、**教職員の授業改善・充実**を図ることができた。

### 課題・改善策

- ・**教員免許更新制の発展的解消に伴う国の方針**や、教職員のライフステージに応じた研修を充実させていく必要がある。

## 授業力向上(カリキュラム)支援センター

### 令和4年度の事業実施方針

- (1) コンサルティング機能を活用した教職員への支援及び相談の充実を図る。
- (2) 指導主事やコンサルタントによる「アウトリーチ型支援」の充実を図る。
- (3) コンテンツの充実を行う。

### 成果

- ・若手教員に対し**アウトリーチ型個人支援・相談**を行うことで、教員の指導力及び実践力の向上を図ることができた。

### 課題・改善策

- ・コンサルタント機能及びコンテンツの活用方法の工夫を図り、初任者及び臨時講師を含め**若手教員の資質向上**をめざし支援の充実を図っていく。

## 教育相談

### 令和4年度の事業実施方針

- (1) 複雑化・長期化する相談に対応するため、相談員の資質向上を図る。
- (2) 相談内容に合わせた適切な相談を実施する。
- (3) 関係機関との連携を図り、効果的な支援体制の構築を図る。

### 成果

- ・複雑化する相談内容に対応するため、スーパービジョンではケース検討だけでなく**トラウマや思春期といったテーマについて講演形式で研修を実施した**。

### 課題・改善策

- ・不登校や発達上の課題、虐待及び二次障害といった問題等を主訴とした相談や、自傷行為といった命にかかわる相談事案が増えている。関係機関との**連携**を行い、**適切な相談の実施や効果的な支援体制の構築**に努めるとともに、重複するケースについては定期的に情報交換を行う必要がある。

## 不登校児童生徒の支援事業

### 令和4年度の事業実施方針

- (1) 学校等との連携の下、教育支援センター「やまびこ」を運営する。
- (2) 教育支援センター「やまびこ」運営委員会を開催し、市内へ不登校改善への情報を発信する。
- (3) メンタルフレンドによる家庭訪問を実施する。
- (4) 「子どもの思春期を考える親のつどい」を充実させ、不登校で悩む保護者の情報交換の場を設定する。

### 成果

- ・継続した学校との連携により、**学校との情報共有や共通理解**を深めることで、不登校児童生徒への支援の充実を図ることができた。

### 課題・改善策

- ・支援の充実を図るために、**カリキュラムの見直し**、個別の支援方法の研究等を推進していく。

## 教育の情報化

### 令和4年度の事業実施方針

- (1) ICTの効果的・効率的な活用により授業改善を図り、思考力・判断力・表現力を養う授業を実現できるよう支援する。
- (2) 発達の段階に応じた体系的な情報モラル教育を推進する。
- (3) 伊丹市立学校園版情報セキュリティポリシーに基づき、学校園の情報セキュリティを向上させる。
- (4) 情報機器やソフトウェア等、ICTを授業や校務に円滑に活用できるよう、適切な整備・運用を行う。

### 成果

- ・学校の課題や要望に応じたアウトリーチ型研修・支援、各校へのICT支援員の派遣等により**教員のICT活用能力向上**に資することができた。

### 課題・改善策

- ・正しく情報を取捨選択し、活用できる力を身につけさせるため、各教科や道徳等で**情報モラル・情報セキュリティ**に係る学習を推進していく必要がある。

## 研究

### 令和4年度の事業実施方針

- (1) 全国学力・学習状況調査等の分析結果に基づいた授業改善を図るための校内研究支援
- (2) アウトリーチによる校内研究支援の充実
- (3) コロナ禍に対応した研究推進マニュアル及びリーレットの活用
- (4) 研究・研修活動の充実に向けた学校支援のあり方に関する調査研究の実施

### 成果

- ・各校の研究推進委員会や教科部会、指導案検討、公開授業、事後研究会等へ参加し、指導助言等を行うことで**校内研究を支援**することができた。

### 課題・改善策

- ・**研究段階に応じた支援を充実**させるため、計画的に学校を訪問し、研究活動の方向性が適切に計画できるように支援していく。

発行 伊丹市立総合教育センター  
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番  
TEL 072-780-2480  
FAX 072-780-2482  
開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00  
水・土 : 9:00~17:00  
休館日 日曜・祝日、年末・年始  
総合教育センターHP <http://www.itamed.jp/>

### <教育相談>

電話 072-772-6171 (電話相談)  
072-780-2484 (来所相談)  
お子様に関する様々な悩みや課題、  
問題等の相談に応じています。  
(来所・電話相談)  
月・火・木・金 : 9:00~18:00  
水・土 : 9:00~17:00